



\*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。高岡中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

## 3年生講演会「夢に向かって」を終えて

早いもので、11月が終わろうとしています。日々寒さが増して紅葉も終わりに近づき、冬の気配を感じています。寒さにも増して乾燥度の高まりに伴い、新型コロナウイルスの感染拡大も懸念されるところです。

学校では、三「密」を避けることはもちろん、マスクの必着、手洗いの充実、換気の徹底を重視して感染症対策を施していきませんが、状況次第では再度休校措置が求められることも視野に入れながら対応していきます。先日11月14日(土)も授業日でした。1学期の休校措置を補うため、全ての金沢市立小中学校で「土曜授業」を行ったわけですが、このあと12月5日・12日、そして1月16日の3日間、合計9日間を予定しています。現段階として授業時数確保や教育課程実施状況は概ね達成できています。ただし休業日の登校については、抵抗感があることも十分承知しています。

そこで土曜授業を何とか有効活用できないものか、校内で協議しPTAや同窓会国際交流会組織にも相談し、そして実現したのがこの「講演会」でした。当然、対象は全校生徒、保護者の自由参加としたかったのですが、コロナ禍においてそれは難しく、また3年生が様々な行事で十分な活動ができていないことを鑑み、3年生対象として踏み切りました。

そして講師には、かねてより熱望していた植松努氏にお願いしました。植松氏は、北海道の赤平(あかびら)市にある「株式会社植松電機」の社長さんです。この会社は、以前TBS系東芝日曜劇場「下町ロケット」という番組に登場した「佃製作所」のモデル会社であり、このドラマには主演の阿部寛さんが社長役として、また竹内涼真さんや土屋太鳳さんも出演していました。

昨年7月、名古屋で初めて植松氏の講演を聴き、話がシンプルで分かりやすく、新学習指導要領が目指す教育にも通じる内容でした。子供に夢を持たせてほしいと純粹に語っていたのが印象的で、ぜひ本校生徒に聴かせたいと思い、昨年9月の学校だよりでも、その著書「あきらめない練習」を紹介させて頂きました。



当日、この写真の通り「植松電機」といった作業服を着て、大きなリュックを担いで来校され、びっくりしました。そして講演会が始まって約80分、息付く暇もないくらいの語りが続くのです。しかし聴いている生徒、職員の全て(だと思えます)が顔を上げ、講演に聞き入っているのです。一番前にいた私がふと振り返ったところ、一心不乱にメモする生徒全員の姿があり、またも驚かされたのです。

講演会終了後、各教室に戻った生徒は「振り返り」を書きました。ある担任曰く「こんなに真剣に書いている姿は見たことがない」と感動したそうです。

私も読ませてもらいました。次に示すのは、その一部を抜粋したものです。

まずは、率直な感想です。

「とてもすごい講演で自分の心に突き刺さった」「すごい話が聴けた、最初だるいな～と思っていたけれど話が始まってそれは一変した」「悩んだり落ち込んだりしていたが心が少し楽になっ

た」「元気が出てきた、これから何でもできそうな気がしてきた」「小さなことでもいいからたくさん夢を持とうと思った」「今日は素晴らしい一日になった、夢の見方を学べたような気がした」「自分を前に押ししてくれる言葉をたくさんもらった」「心に響く言葉をたくさんもらい晴れやかな気分になった」「この講演で精神的に助けられた」「僕みたいな点数の取れない人でもやり続ければ可能性が出てくることが分かった」「コロナ禍で大変な時に僕たちのためにわざわざ石川県に来て頂きありがとうございます」「とても貴重な時間になった、少し不安だったことがすっきりして本当に良かった」「普通の授業よりもたくさんのことを学べた、本を読むことも習慣づけたい」「おそらく人生で初めて本を読みたいという思いが強まっています」「自分の中の何かが変わったと思った」「大切なことを教えてくれる植松さんはとても偉大に感じた、今後リスペクトしていきたい」「話の中にいっぱい名言があり全て私の心にグサツときた、聴いていてなんか楽しかった」「植松さんの話はとても分かりやすく飽きることがなかった、これまで『どうせ無理』と使ってきたが自分で可能性をつぶしていたんだと知りもう使わないと誓った」「良い言葉がたくさん出てきてメモできないくらいだ、中学生でこんな講演を聴けてとてもよかった」「心に残り勇気づけられる言葉がたくさんあり全てをメモしたいと思った」「話の合間に『え〜』『あ〜』『え〜っと』など一度も言わないので聞きやすくまた説得力があった」「今日の講演会は自分を見つめ考え直す良い機会になりました」「今日のお話は今後の人生で必ず生きる気がします」「植松さんに会えたことを僕は運命のように思う、この講演で初めて自分が肯定されたような気がして自信が付いた、本当に聴けて良かった」「講演後とても贅沢な時間を過ごした気持ちにさせられ、聴いた言葉が全て頭の栄養になった感があり、人の話を聴くことが本当に面白いと感じた」「絶対に人の可能性を奪うような人間にはなりません」「僕はこの話を大人にも聴いてほしいと思いました」



次に、心に残ったキーワードです。

### 「思うは招く」

- ・いい言葉だ。思うことは自由、それで良い結果を招いてくれるなら思ったもん勝ちだ。

### 「夢があれば何でもできる」

- ・夢があれば前向きになり、いろいろ楽しくなることを感じた。テストが悪いからそれだけで人生が決まるわけじゃないのに、自分を追い込んでいる私はバカだなと思った。
- ・一番伝わってきたことは夢を諦めないこと。誰に何を言われても、自分で考え、自分で決断することが大切だと思った。

### 「不安の向こうに喜びがある」

- ・今、受験生で不安がたくさんあるけれど、その先の喜びを信じて頑張っていきたい。

### 「『楽』すると無能になる、『楽』しいにすればいい」

- ・大人は楽な仕事や給料が高い仕事がいいって言うけど、植松さんに楽じゃなく楽しいを探ることが大切だと教わり、自分が就きたい職業を目指していいんだと改めて思えた。
- ・確かに楽な仕事でも、楽しくないと続かないと思った。
- ・今まで楽しく過ごしたいから楽をしたこともあるが、確かに無能になる気がしてきた。

### 「人は足りないからこそ助け合える」

- ・自分の周囲にいる人を大切にし、自分や相手の足りないところを補い合える関係にしたい。

### 「人との出会いには意味がある」

- ・思考が豊かになり自分の未来まで変わった気がします。植松さんの出会いに感謝です。

### 「大好きなことこそが人生のパワーになる」

- ・好きなことを仕事にできるほど幸せなことはない。もちろん勉強も大切だと思いました。
- ・進路で悩んでいる私にとってこの言葉は『テストの点数で人生をあきらめないで』と言っているようで強く突き刺さりました。

## 「ちがうはすてき！」

- ・中学生になって周りから『変わっているね』と言われ、他と比べて変じゃないか、普通になりたいと常に思っていたが、違うことがダメでなく素敵なことだと教えてもらい、安心すると共に自分らしく踏み出せそうになりました。
- ・日本では人と違うことで浮いたりいじめられたりするけど、人の真似しかできないことは無能になると知り、言われたことだけをやるのではなく自分で考え行動しようと思いました。
- ・言われたことだけしていたら考えなくなる、私もそうなりかけていた。自分で考え、行動できるようになりたい。

## 「人より『優』れてなくてもいい」

- ・私は、人より勉強ができるわけでもなく、得意なことやりたいこともあるわけでもない。この先どうなるのだろうと不安しかなかったのですが、『優』しさと思いやりを持って自分にできることをやれば十分だと励まされ、自信も持てるようになりました。
- ・才能の有無なんて些細なこと、人より優れている必要はないと言われ、救われた気がした。

## 「失敗はデータ」

### 「失敗しない人は何もやらない人だ」「できないからやらないは間違っている」

- ・失敗はダメなことではなく、乗り越えたら力になる大切なことだと思えるようになった。
- ・失敗を恐れなくていい、自分はダメな人間だと思わなくていいと言われ、ほっとした。
- ・まずは自己肯定力を付け、失敗を恐れず、自分で考えて試せるようになりたい。
- ・失敗をしないように生きるのではなく、失敗の先にはいいことが待っていると信じることも必要なだと分かりました。

## 「人はやったことないことしか出会わない」

- ・日本一と言われる職人さんでも初めての時はやったことがない状態で、その後失敗を繰り返して上達し、自信につながっていることなのかなと思った。

## 「新しいことは誰も教えてくれない」

- ・私にとって新しいことでも誰かが知っているなら教えてもらえる。ところが、本当に新しいことで誰も知らないことは自分で開拓しなければならない。すると、次は誰かに必要とされる。でも普通は他と違うから自分ではできない。

## 「人生はフライングした方が先に進める」

- ・植松さんのようにフライングをたくさんして諦めないで夢を叶えたい。

## 「未来は誰にもわからない、だから否定できないしあきらめる理由もない」

- ・未来は誰にもわからないので、とんでもなく大きい夢を見ようと思いました。

## 「人間は、生まれた時から諦め方を知っている人はいない」

- ・人には身に付けていくものと身に付けさせられていくものがあり、「諦める」ことは身に付けさせられていることだと思いました。
- ・私は苦手なことがたくさんある(と思っている)が、確かに生まれた時から苦手なんじゃなくて、誰かに評価されて苦手だと思っている気がしました。
- ・私は勉強が苦手で点数も悪いけど、だからといって人生を諦めないでいいと言われ、少し気が楽になりました。

## 「だったらこうしてみれば？」

- ・昨日よりちょっと優しい自分を目指し、思いやりと優しさを持ってこの言葉をかけられるような人になりたい。

また、自分の思いも加えた感想です。

- ・植松さんのお話は体験談も交えていたので、自分と重ね合わせたり想像したりすることができた。また自分は『これで良かったんだ』『そうすれば良かったんだ』と思うことができた。
- ・今、受験生です。テストの結果や友達との実力差をすごく気にしてしまい、良い高校に合格することだけが大事だと思っていました。もちろん勉強は大切だけれど、一番考えなければ

- ならないことは何が好きなのか、何を学びたいのかであると気づかされ、勇気づけられた。
- ・今までいろいろな話を聞いたけど、今日の講演会が一番ためになりました。ステキな言葉や考え方をたくさん教えてくださり私の考え方が変わりました。世界中の人に聴いてもらいたいくらいのためになる良いお話でした。
  - ・すごく気持ちがポジティブになりました。こんなにちゃんと話を聞いたのは生まれて初めてのよな気がします。
  - ・「嫌なことを我慢しない」という考え方がすごく心に残った。それは好き放題するというのではなく、嫌な思いを自分にも他人にもさせないことが『優しさ』だとわかったからだ。
  - ・夢は「宇宙エレベータ」を作ること。将来植松さんと一緒に仕事がしてみたい。大人になって会社に入るしかないと思っていたけれど、起業するという方法もあることが分かった。
  - ・私は人の命を救える仕事に就きたい、それは医者しかないと思っていたが、人を助ける仕事や方法はたくさんあると思えてきた。
  - ・今まで夢を持って「どうせダメ」と思う自分がいたけれど、すぐにあきらめるのではなく、夢を追い続けることが将来を作っていくんだと気づきました。こんなにも話を集中して聴き続けたのは初めてのことで、今日はすごく良い日でした。
  - ・最近テスト、テストで気持ちが沈んでいたけど、全ての人に可能性があると思えて、元気をもらいました。
  - ・テストが悪くて、どうせ俺なんか、勉強嫌だーとか弱気になっている自分がいて、それがダメだと気付かされた。
  - ・講演会を聴き、私の好きなことや趣味は意味のないことではないとわかって安心した。
  - ・植松さんのお話を通して、焦らなくていい、これからいろんな経験を重ね、いろんな「大好き」を見つけて、自分が本当にしたいことをゆっくり考えていこうと思いました。
  - ・確かに中学校に入り「勉強する子はえらい、みんな勉強と部活の両立をできるように、中学校生活はそれのみ」だったよな気がする。間違っているわけじゃないけれど、勉強するのは自分の能力をレベルアップさせ、夢を叶えるためなんだと新しい意味を見つけることができ、併せてこれからの生活の視点をいい方向に変えることができた。将来、教える立場になったら植松さんみたいに背中を押してあげられる存在になりたい。
  - ・今日のお話を聴いて、私の好きな言葉「今日という日は残りの人生最初の日」とつながっていると「悔しいと思うならそれを気に病むんじゃなく次どうするか考えよ」という意味で、植松さんのお話そのものだと思った。

最後に、3年4組・前田紋伽さんが代表して「お礼の言葉」を述べました。

「今日は、私たちのために遠いところからお越し頂き、ありがとうございます。植松さんのお話を聴き、夢や未来について考え直すことができ、未来が楽しみになり、私でも社長になれるよな気がしてきました。これから自分の好きなもの、やりたいこと、楽しいことを見つけ、自由を大切に生きていきたいと思えます。改めて、今日は面白くてわかりやすいお話が聴けて、すごく視野が広がりました。ありがとうございました。」

なお、本校図書館には講演会前から、植松氏の著書の特設したので、一度手に取って読んでみてください。

本当にお忙しい方で、コロナ禍でなかったら本校での講演は実現しなかったかもしれません。

改めて、この機会が得られたことに感謝し、併せて今回視聴できなかった生徒、保護者のためのDVD作成についても、ご支援頂いた同窓会国際交流会やPTAの皆様にも重ねてお礼申し上げます。



校長 村上 賢正